

# 携帯電話が手放せない

中学生の携帯利用状況は

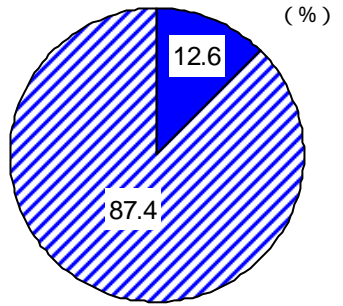
1日3時間携帯使用 22% メール51回以上 17%

愛媛県教育委員会では、平成20年12月に県内の小・中学生を対象に携帯電話所持率等の調査を実施しました。調査結果は次のとおりです。

携帯電話の所持率は、小学校が12.6%、中学校が35.9%で、全国調査（小学校31.3%、中学校57.6%）に比べ、小・中学校とも低い。

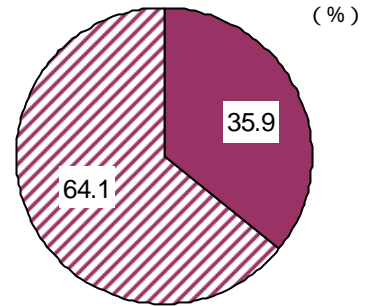
設問1 自分が使う携帯電話を持っていますか。

【小学校】



所持している 所持していない

【中学校】

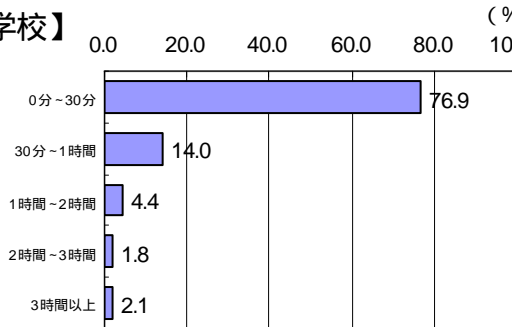


所持している 所持していない

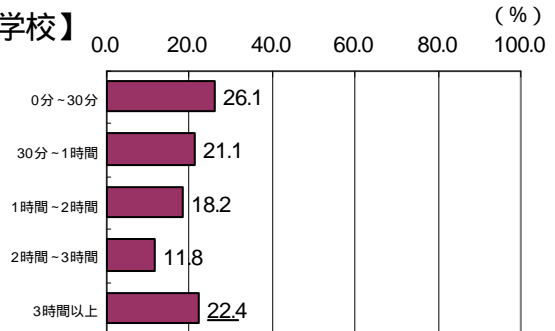
小学校は、全体的に携帯電話の使用時間は短いですが、中学校では使用時間が短い者と長い者との二極化が見られる。

設問2 1日に携帯電話を使う時間はどのくらいですか。

【小学校】



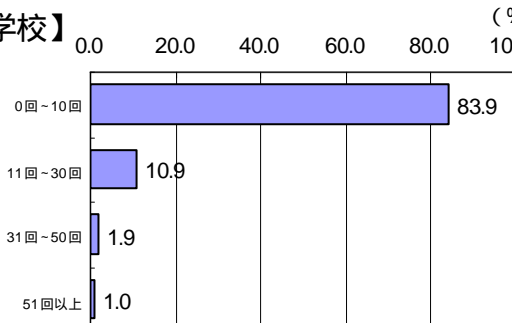
【中学校】



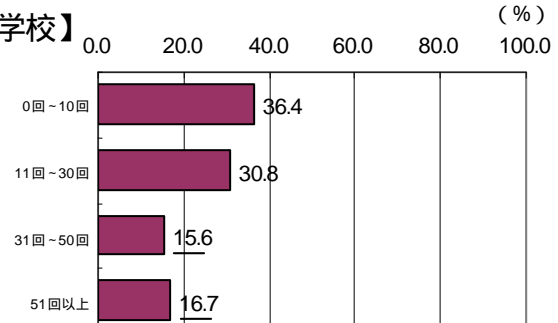
メールの回数は、小学校では、大半の者が10回未満であるが、中学校では3分の1の者が1日に31回以上メールをしている。

設問3 1日にメールをする回数はどのくらいですか。

【小学校】



【中学校】



# 恐ろしい「ケータイ依存」 あなたは大丈夫？

インターネットや携帯電話の普及<sup>ふきゅう</sup>により、私たちの生活は大変便利になりました。しかし、一方では、有害情報の氾濫<sup>はんらん</sup>により、誹謗中傷<sup>ひぼうちゅうしょう</sup>や性犯罪<sup>せいはんざい</sup>の被害など、子どもたちをめぐる事件や事故も多数起きています。また、携帯電話やメールを長時間使用するなど、携帯電話への依存<sup>いそん</sup>が高くなることに伴<sup>ともな</sup>って、生活習慣や学習習慣が乱れることも指摘<sup>してき</sup>されています。

小・中学生のみなさん、そして保護者の方々、携帯電話の利用の仕方について、今一度よく考えてみてください。



## ケータイに依存してしまうと・・・

携帯電話に依存してしまうと、例えば、次のような行動を取るようになります。

(例)

- ・ いつも携帯電話を握っている。
- ・ 友だちと一緒にいても、メールをしている。
- ・ いつも(食事中・トイレ)携帯電話が気になる。
- ・ 送られてきたメールの返信を急いでしまう。
- ・ 電池が切れそうになるとイライラする。
- ・ 圏外<sup>けんがい</sup>になるとパニックになる。 など

携帯電話に依存してしまうと、次のような心配も生じます。

(例)



- ・ 夜遅くまで携帯電話を使用するなど、生活のリズムが崩<sup>くず</sup>れてしまう。
- ・ 学習時間が保てず、学習が遅れがちになる。
- ・ 有害情報に触れる機会が増える。
- ・ 友だちとのかかわり方が変わる。
- ・ ネット上に自分の居場所<sup>いばしょ</sup>を求めてしまう。 など

## ケータイに依存しないために考えなければならないことって何？

ケータイに依存しないためには、携帯電話の利用時間帯や一日の利用時間などをきちんと決めることが大切です。

- ・ 携帯を使う時間、使わない時間を決めましょう。
- ・ 家族で話し合っ、ルールづくりをしましょう。

